

分類	No.	ご意見の内容（要旨）	市の考え方	策定方針（案） ・骨子（案）への反映
策定にあたって	1	主語と述語、言葉の意味、つながりに留意すること。語句を引用する場合は、出典を明記すること。	策定の趣旨につきまして、文章全体を整理するとともに、策定方針案と骨子案との整合を図りました。引用や裏付けとなるデータとの紐づけなどにつきましては、今後、計画書を作成する際に、十分に留意してまいります。	策定方針（案）P1「（1）策定の趣旨」及び骨子（案）を修正しました。
	2	事務局はもう少し地域に出て、地域の実態を調べることが第一歩である。高齢化率が高い地区では、担い手がおらず、今まで実施していた活動すら廃止している状況である。そこに支え合い活動や見守り活動を新たにやってみて欲しいといわれても、できるわけがない。	まずは、各区実務担当者へのヒアリング、市社協との合同ワーキンググループの開催、実際の地域福祉活動への参加等を通じて、地域の実態把握に努めてまいります。ご意見のとおり、地域ごとに状況が異なりますが、地域福祉活動の担い手不足が深刻な地域もございますので、地域の実情に応じた形で、様々な取組みが推進できるよう支援してまいります。	策定方針（案）P1「①現状と課題」及び骨子（案）に反映しました。
	3	今後増えるであろう外国人が地域福祉計画でどのように関わっていくのか考える必要がある。住人として、支え手になる可能性がある一方で、災害時に日本語が不自由な外国人に対する支援も必要であると考えられる。	地域福祉計画は、国籍等に関わらず、生活しづらさを抱える全ての方々を支えるものと考えており、外国人住民の地域生活における支援等については、市国際交流課、公益財団法人千葉市国際交流協会と連携・協力し、具体的な取組みを検討してまいります。	策定方針（案）P1「①現状と課題」及び骨子（案）に「外国人住民の増加」を追加しました。 また、策定方針（案）P6「2. 地域福祉を取り巻く状況の変化」の「（1）様々なデータ、統計」及び骨子（案）に「外国人住民の状況」を追加しました。
	4	市民の生活のしづらさ（孤立、家族の中で課題がある等）を、具体的に現状と課題の中に明示し、隅々網羅できる形で計画をつくること、「誰も置き去りにしない」というメッセージとなると思う。	計画書における現状と課題の部分の記載については、「市民の生活のしづらさ」をより詳細かつ具体的に記述するよう、検討してまいります。	—
	5	第3期計画の検証を、きちんと行えていなかったことから、同じ轍を踏まないよう、第4期計画の検証作業をきちんと行っていくべき。	第4期地域福祉計画の検証作業をしっかりと行い、令和2年度第1回分科会（7月頃）で提示させていただき素案、第2回分科会（11月頃）の原案に反映させてまいります。	策定方針（案）P2「②地域共生社会の実現」及び骨子（案）に、第4期地域福祉計画の成果と課題を明確にしたうえで、様々な取組みを進めていく旨を記載しました。
	6	事務局は地域の実態を把握し、計画策定の作業自体や地域で行う取組みのうち、何が住民の負担になっているか把握することが大事である。	第4期地域福祉計画の検証をしっかりと行うとともに、まずは、各区実務担当者へのヒアリング、市社協との合同ワーキンググループの開催、実際の地域福祉活動への参加等を通じて、地域の実態把握に努めてまいります。	
	7	若葉区では、高齢者の食事会と子ども食堂を一緒に開催している例や、若松高校で子育てサロンの子どもたちとふれあいをするなどの例がある。	計画策定、事例紹介の参考とさせていただきます。	策定方針（案）P2「③区（地域）の取組み」及びP10「4. 住民同士の支え合い<区（地域）の取組み>」の5つの「策定にあたり取り入れていただきたい視点」の1つ、「既存資源の活用」を「地域福祉活動への若者・子どもの参加」に修正しました。
	8	担い手の確保に関する問題については、子どもを中心としたイベントを行い、その親が参加する中で上手く取り込んでいる地区もある。このような方法を他の地区も参考にしたらどうか。	ご意見の内容は、地域づくりを進めるにあたって、大変有効な取組みであると考えます。今後、こうした子ども・子育て世代を取り込んだ活動を取組事例として紹介するなど、広く発信してまいります。	策定方針（案）P2「③区（地域）の取組み」及びP10「4. 住民同士の支え合い<区（地域）の取組み>」の5つの「策定にあたり取り入れていただきたい視点」の1つ、「個人同士の緩やかなつながり」を「全世代を対象とした担い手づくり」に修正しました。
	9	地域では、何か一つの活動に参加すると、他の活動への参加も頼まれてしまうことがよくあり、負担となるため参加しづらい面もある。一つの活動だけに特化すると参加しやすいのではないか。	ご意見のとおり、活動を絞る、あるいは一つの活動だけに特化し、負担を軽減したうえで、担い手を募ることも有効であると考えます。	

分類	No.	ご意見の内容（要旨）	市の考え方	策定方針（案） ・骨子（案）への反映
策定にあたって	10	コミュニティソーシャルワーカーが、個別ケースへの支援、地域づくり支援と活動の担い手不足の問題などを総合的に解消していくような役割を担えるよう、計画に盛り込む必要がある。	第4期地域福祉計画において、コミュニティソーシャルワーカーの増員等を図ることとしておりますが、第5期地域福祉計画においても、ご指摘のとおり、コミュニティソーシャルワーカー等が個の問題、地域づくりと担い手の問題などを総合的に捉え、解決に向けて行動するという役割を果たせるよう、量の確保に加え、質の向上を図っていく必要があると考えております。	策定方針（案）P3「④市の取組み」及び骨子（案）に、「コミュニティソーシャルワーク機能をさらに強化し、その機能が区（地域）に根付くことに主眼を置きつつ」を追記しました。  また、策定方針（案）P12「5. 地域福祉の基盤整備のために市が行う取組み<市の取組み>」◆取組方針1「地域の支え合いの力を高める」の主要施策の1つとして「コミュニティソーシャルワーク機能の強化（CSW増員等）」を追加しました。
	11	習志野市では、公民館に社協の事務所を開設している。身近なところに社協を設置するのは、今後の課題ではないか。千葉市の公民館は、無料で年末年始しか休館していないところを評価しているので、続けてほしい。何を行うにも場所が必要なので、行政がどのように関わっていくかは重要な課題である。	「場の確保」については、引き続き課題であると認識しております。第5期地域福祉計画においては、主要施策に「地域福祉活動の拠点確保」を位置づけ、社会福祉施設の地域交流スペースの活用促進など、様々な主体との連携を支援し、拠点確保に努めてまいります。	—
	12	「新しいプラットフォームを設置する」というのが分かりづらい。具体的な記載をしてほしい。	地域やコミュニティで多様なつながりが生まれやすくするため、行政、社会福祉法人、株式会社やNPO等多様な民間主体、地域住民等が出会い、学びあう関係が構築される場や機能の普及に向けた取組みを想定しております。今後、さらに具体的な内容を固め、素案、原案等に盛り込んでまいります。なお、想定している内容を踏まえ、「設置」を「形成」に変更いたします。	策定方針（案）P3「④市の取組み」及びP12「5. 地域福祉の基盤整備のために市が行う取組み<市の取組み>」の表記を「新たなプラットフォームの設置」から「新たなプラットフォームの形成」に修正しました。
	13	「プラットフォームの設置」について。新しくできた社会福祉施設に地域交流スペースができて使っている例があり、それもプラットフォームではないか。	社会福祉施設と地域住民が地域課題解決のために連携・協力している点で、ご意見のとおり、地域のプラットフォーム（基盤）であると言えると思います。	—
	14	国が進めようとしている「地域包括ケアシステム」とは、隣のおじいさん、おばあさんをどう見るか、隣の子供をどう面倒見て、声掛けをするか、安心安全をどうつくりだしていくのかということが課題となるのではないかと思うが、地域では理解されていない。	地域包括ケアシステムは、『2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制づくり』のことを指し、ご意見のとおり、行政だけで構築するものではなく、地域の支え合いの力が重要となりますが、その点につきましては、様々な課題があると認識しております。	—
	15	市は、「成年後見制度の利用促進」にもっと力を入れてほしい。	平成30年度に千葉市成年後見支援センターを中核機関に位置付け、今後、成年後見制度利用促進計画を第5期地域福祉計画に位置付けることとしており、さらなる権利擁護の推進を図ってまいります。	—
共有するメッセージ	16	共有するメッセージに「キラキラとした自分らしく」が入ったらもっと良い。	共有するメッセージにつきましては、今後も、様々なご意見をいただきながら、決定してまいります。	策定方針（案）P9「◆共有するメッセージ」に（仮）を追記しました。
区の取組み	17	重点取組項目については、すべて行うのは難しいので、従来どおり選択できるようにしてもらったほうが行いやすいと思う。	第4期地域福祉計画と同様に、重点取組地区を計画書に掲載することとしております。重点取組項目の設定、重点取組地区の選定方法等につきましては、各区の実情に応じて行っていただきます。	—
	18	子ども食堂に対して、補助を行うなど支援策はあるか。子ども食堂の実施に際しては、公平性や時間の制約などの課題がある。高齢者向けと一緒にしたらどうかということだが、それはまた別の特性があり、合わせるの難しい。	子ども食堂につきましては、市ホームページにおいて、「利用したい方」「運営している方・これから始めたい方」「手伝いたい方」「支援したい方」向けに、様々な情報を発信しております。立ち上げのサポートにつきましては、市社協コミュニティソーシャルワーカーが行っております。なお、子ども食堂に特化した補助制度はございませんが、各区の地域活性化支援事業等を活用いただいている事例がございます。高齢者向けと一緒に実施することにつきましては、様々な課題があるかと思いますが、まずはイベント的に実施していただく等、多世代交流の視点を取り入れた取組みが広がるよう、支援してまいります。	—

分類	No.	ご意見の内容（要旨）	市の考え方	策定方針（案） ・骨子（案）への反映
市の取組み	19	地域づくりの担い手、リーダーの育成が一番気になる。大学の卒業論文や会社の人事考課に、地域福祉へどう携わったかを取り入れるなど、仕掛けが必要である。	具体的な施策として実現するには難しい部分がございますが、計画策定の参考とさせていただきます。	—
	20	取組方針Ⅲに列挙されている13項目を、章立てか項目立てにして、整理してほしい。また、この中の「健康づくり」「福祉と文化の融合」を大事にしてほしい。福祉と文化の融合を大事にしていけることが、これからの福祉を活発にするのではないかと。	現時点では整理できておりませんが、位置付ける具体的な事業等を踏まえ、次回、令和2年度第1回分科会において、素案をご提示させていただく際、章立て等で整理する予定です。なお、ご意見のとおり、健康づくり、福祉と文化の融合は大事にすべきであると考えております。	—
	21	千葉県の中核地域生活支援センターのように、24時間365日、障害者や高齢者、子どもに関わらず相談を受けるセンターの設置を検討してほしい。	引き続き、千葉県、中核地域生活支援センターとの連携、情報共有を行いながら、今後、各所管で整備・充実を図ってきた様々な市内相談支援機関とのさらなる連携や役割分担等を検討してまいります。	—
	22	市民の声を聞く役割の人を増やしていくことが大事である。それがコミュニティソーシャルワーカーではないか。	ご意見のとおりであり、引き続き、コミュニティソーシャルワーカー等の増員を検討してまいります。	—
取組事例	23	第4期計画に掲載されている好事例は、素晴らしいけれども真似できないような事例である。それよりも、誰でも取り組むことができる事例を紹介してはどうか。	ご意見のとおり、第5期地域福祉計画においては、より身近で取組みやすい事例も盛り込んでいきたいと考えております。つきましては、「好事例」の表記を、「取組事例」と改めます。	策定方針（案）P13「6. 取組事例」及び骨子（案）等の表記を「好事例」から「取組事例」に修正しました。
	24	子どもたちが、地域福祉活動に馴染みがない。子どもから家庭へ、そして地域へと広がるよう種をまくこと（福祉教育・啓発を行うこと）が大事である。これに関する好事例があれば盛り込んでほしい。	福祉教育・啓発に係る事例についても、「取組事例」の中に盛り込んでまいります。	—
計画の策定体制	25	図中に、「市民」または「住民」を入れてはどうか。	図を修正いたします。	策定方針（案）P16「8. 計画の策定体制」の図中「地域福祉の活動主体」に「地域の住民・組織」を追加しました。
全般・その他	26	中長期計画なので、長い目で若年層の担い手を確保することを考えてほしい。	ご意見のとおり、より多くの若い人に、まずは地域での活動に関心を持っていただけるよう、そして活動に参加していただけるよう、具体的な取組みを検討してまいります。	—
	27	地域福祉計画のことを地域の人にきちんと浸透させてほしい。	より多くの地域の方々に地域福祉計画が浸透するよう、広報啓発方法の見直しや新たな取組みの実施を検討してまいります。	—
	28	「住民」「行政」「社協」が、それぞれの立場で上手くいっていることと上手くいっていないことの両方を見ることが大事である。	ご意見のとおり、「住民」「行政」「社協」それぞれの「上手くいっていること」と「上手くいっていないこと」を整理しつつ、計画策定を進めてまいります。	—
	29	「本当はここをやりたいができない」ということを、各区分かりやすく2つくらい出すと、各種団体が協力できることがあるかもしれない。皆が一緒になって、上手くいくか分からないけれどとにかくやってみようという方向を期待したい。	ご意見のとおり、「本当はここをやりたいができない」という地域の声を拾い、「つなぎ」「やってみよう」という事例を積み重ねていくことが大切であると考えております。	—
	30	「千葉市」の独自性をもう少し出してほしい。	今後、第4期地域福祉計画の進捗を踏まえ、コミュニティソーシャルワーク機能の強化等、本市の独自性を出せるよう検討してまいります。	—